

科目	母性看護演習				
時間数	1 単位 26 時間	授業方法	演習	授業時期	2 年
講師名	②高橋美由紀 補助(③河本さやか)				
実務経験	②助産師(医療機関) ③看護師(医療機関)				
ねらい	演習を通して、臨地実習で行う基礎的技術を習得する。 事例学習を通してウェルネス型看護過程を学ぶ。				
目標	1. 母性看護領域で必要とされる基礎看護技術が習得できる。 2. ウェルネス型看護過程を用いて標準看護計画が立案できる。				
授業計画					
回	内容				
1～13	1. 技術演習 (1)沐浴・新生児の観察・計測 (2)分娩シミュレーション・胎盤の観察・計測 (3)妊婦健診シミュレーション (腹囲・子宮底測定、レオポルド触診法、NST 装着) 2. 看護過程 (1)概念 (2)母性看護における看護過程 3. ウェルネス看護診断 4. 看護過程の実際 (1)妊婦の事例展開 (2)産婦の事例展開(SOAP) (3)褥婦の事例展開(標準看護計画) (4)新生児の事例展開(標準看護計画)				
評価方法	その時間数の 3 分の 2 以上の出席者に限り受験資格を与える。 学科終講時に行う筆記試験 70%、授業参加状況 10%、課題提出状況 20%を総合して評価する。 60 点以上を及第点とする。				
教科書	母性看護学(2)母性看護学各論:医学書院				